

医師 対象コース



◆ 研修の目的

結核対策上、保健所等において公衆衛生に携わる医師と医療機関において臨床に携わる医師の役割は大変重要です。結核の基礎に加え、各コースの対象に応じて行政・臨床に役立つ最新の知識・技術および情報を提供します。本研修を通して、それぞれの業務を円滑に行える技術を身に着けることを目的としています。

なお、当所研修は日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度の単位取得の対象となっています。

◆ 研修コース紹介

コース名・開催期間	対象	研修内容
医師・対策コース 第1回： 2026年 6月 2日～ 5日 第2回： 2026年10月20日～23日 ※オンライン開催	保健所等行政 に携わる医師	結核の基礎から結核対策に関する最新の知識を学ぶための、行政医師向けのコースです。結核の感染及び発病診断と治療、結核に関する細菌学、胸部X線読影、結核の疫学、接触者健康診断の検討や集団発生調査の基礎、院内感染対策、外国出生者の結核に関する内容など、保健所や本庁での業務に役立つ内容となっています。 行政医師はもちろん、地域の結核対策に携わる臨床医にとっても、日常の診療業務に充分参考になる内容です。 ※第1回、第2回のコースは同じ内容です ※第1回持参物(必須)：Wi-Fiに繋がられるPC
医師・臨床コース 2026年11月26日～28日	結核の診断・ 治療に携わる 医師	結核の診断、治療、抗酸菌検査などの結核の基礎に関する講義のほか、結核の画像診断、結核とHIV、結核の海外事情、非結核性抗酸菌症の講義など、幅広い内容となっています。結核高度専門医療施設である複十字病院呼吸器内科の医師による講義を中心に、結核診療の最新情報を学ぶことができます。 これらに加えて、実際に診療された事例を基にした症例検討も行います。これにより、より良い診断・治療方法をディスカッション形式で学び、結核診療の理解をより深めていただくことができるようになっています。